

# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年10月30日

上場会社名 日本デコラックス株式会社  
 コード番号 7950 URL <http://www.decoluxe.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 木村 重夫  
 (氏名) 松波 郷典  
 配当支払開始予定日

TEL 0587-93-2411

平成29年12月6日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,889	1.8	320	20.4	331	18.0	252	14.5
29年3月期第2四半期	2,941	0.3	402	8.1	403	4.2	295	15.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.10	
29年3月期第2四半期	36.37	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	16,210	14,251	87.9	1,754.28
29年3月期	16,302	14,174	87.0	1,744.69

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 14,251百万円 29年3月期 14,174百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		8.00		20.00	28.00
30年3月期		12.00			
30年3月期(予想)				16.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,150	0.0	700	10.2	750	6.6	550	11.7	67.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,930,000 株	29年3月期	8,930,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	805,891 株	29年3月期	805,458 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,124,199 株	29年3月期2Q	8,125,643 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
3. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各国の政治情勢の変動や新興国の景気停滞の懸念、北朝鮮の地政学的リスクなど、依然として先行き不透明感のあるものの、企業業績の改善が継続したことによる雇用環境、所得環境の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### <建築材料事業>

化粧板製品のうち、高圧メラミン化粧板については、オフィス家具市場の販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、トイレブース市場の販売が減少いたしました。また、不燃メラミン化粧板は、小中学校を中心とした非住宅物件のトイレ壁面向けの販売が増加いたしました。その結果、化粧板製品の売上高は1,982百万円(前年同四半期比95.3%)となりました。電子部品業界向け製品は、自動車の安全性・利便性向上による電装化を背景に車載関係の需要は増加いたしました。その結果、電子部品業界向け製品の売上高は401百万円(前年同四半期比112.8%)となりました。ケミカルアンカー製品につきましては、水中でも使用可能なエポキシカートリッジ「GLW450」と引抜強度が向上した「EL350N」について、インフラ市場への提案や展示会での情報発信に注力いたしました。また、土木関連工事での販売が増加しましたが、建築耐震市場での販売は減少しました。その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は372百万円(前年同四半期比100.0%)となりました。

これらの結果、建築材料事業セグメントの売上高は2,756百万円(前年同四半期比98.2%)となりました。

また、利益面では、前年度に導入した生産設備に伴う減価償却費の増加や原材料および燃料費の高騰などにより営業利益は減少いたしました。

#### <不動産事業>

不動産事業は、都心のオフィスビルの空室率が低下したことなどの影響により、引き続き賃貸オフィスは順調に推移しました。その結果、不動産事業セグメントの売上高は132百万円(前年同四半期比99.8%)となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は2,889百万円(前年同四半期比98.2%)、営業利益は320百万円(前年同四半期比79.6%)、経常利益は331百万円(前年同四半期比82.0%)、四半期純利益は252百万円(前年同四半期比85.5%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて91百万円減少の16,210百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて168百万円減少の1,958百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて77百万円増加の14,251百万円となりました。これは主に、四半期純利益を252百万円計上したことと、配当金の支払を162百万円実施したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に対し、当第2四半期累計の実績を踏まえて、下記の通り修正いたしました。

平成30年3月期 通期業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	6,200	750	800	600
今回発表予想(B)	6,150	700	750	550
増減額(B-A)	△50	△50	△50	△50
増減率(%)	△0.8	△6.7	△6.3	△8.3
前期実績 (平成29年3月期)	6,150	779	802	622

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,752,475	5,244,113
受取手形及び売掛金	2,318,534	2,051,248
有価証券	157,213	239,559
商品及び製品	190,512	238,065
仕掛品	51,612	49,335
原材料及び貯蔵品	291,852	322,625
その他	140,770	341,178
流動資産合計	8,902,970	8,486,124
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,475,595	2,420,272
土地	3,006,047	3,000,384
その他(純額)	1,141,906	1,038,370
有形固定資産合計	6,623,549	6,459,027
無形固定資産	19,027	24,913
投資その他の資産		
投資有価証券	397,354	882,360
その他	359,135	357,962
投資その他の資産合計	756,490	1,240,323
固定資産合計	7,399,067	7,724,264
資産合計	16,302,037	16,210,389
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	543,341	438,703
電子記録債務	589,435	591,386
未払法人税等	127,911	143,660
未払消費税等	-	29,577
引当金	46,047	67,513
その他	348,442	240,115
流動負債合計	1,655,179	1,510,956
固定負債		
役員退職慰労引当金	297,332	304,484
その他	174,682	142,952
固定負債合計	472,014	447,436
負債合計	2,127,194	1,958,393
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	9,743,251	9,833,475
自己株式	△369,748	△370,035
株主資本合計	14,194,418	14,284,355
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19,575	△32,359
評価・換算差額等合計	△19,575	△32,359
純資産合計	14,174,843	14,251,996
負債純資産合計	16,302,037	16,210,389

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,941,484	2,889,477
売上原価	1,774,870	1,801,283
売上総利益	1,166,613	1,088,194
販売費及び一般管理費	764,439	767,913
営業利益	402,173	320,280
営業外収益		
受取利息	7,345	5,795
受取配当金	1,578	5,192
受取賃貸料	5,096	4,542
その他	2,813	4,569
営業外収益合計	16,833	20,100
営業外費用		
支払利息	3	3
売上割引	6,539	6,080
為替差損	6,753	-
賃貸費用	2,079	847
支払手数料	-	2,431
その他	154	8
営業外費用合計	15,531	9,372
経常利益	403,475	331,008
特別利益		
投資有価証券売却益	49,902	-
投資有価証券償還益	12,518	2,598
固定資産売却益	-	81,201
特別利益合計	62,420	83,800
特別損失		
投資有価証券評価損	-	35,550
固定資産除却損	1,600	7,117
特別損失合計	1,600	42,667
税引前四半期純利益	464,296	372,140
法人税等	168,749	119,425
四半期純利益	295,546	252,714

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

平成30年3月期第2四半期決算短信参考資料

1. 平成30年3月期第2四半期の業績

(1) 経営成績

(単位：千円未満切捨)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
売上高	2,941,484	100.3	2,889,477	98.2	6,150,313	98.6
営業利益	402,173	108.1	320,280	79.6	779,309	96.9
経常利益	403,475	104.2	331,008	82.0	802,755	94.9
四半期(当期)純利益	295,546	115.9	252,714	85.5	622,780	110.8
1株当たり四半期(当 期)純利益	36円37銭		31円10銭		76円64銭	

(2) セグメント別売上高

	売上高			コメント
	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)	
建築材料事業				
化粧板製品	1,982	68.6	△4.7	高圧メラミン化粧板については、オフィス家具市場の販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、トイレブース市場の販売が減少いたしました。また、不燃メラミン化粧板は、小中学校を中心とした非住宅物件のトイレ壁面向けの販売が増加いたしました。また、住宅市場の販売が減少いたしました。
電子部品業界向け製品	401	13.9	12.8	自動車の安全性・利便性向上による電装化を背景に車載関係の需要は増加いたしました。
ケミカルアンカー製品	372	12.9	0.0	水中でも使用が可能なエポキシカートリッジ「GLW450」と引抜強度が向上した「EL350N」について、インフラ市場への提案や展示会での情報発信に注力いたしました。また、土木関連工事での販売が増加しましたが、建築耐震市場での販売は減少しました。
小計	2,756	95.4	△1.8	
不動産事業	132	4.6	△0.2	都心のオフィスビルの空室率が低下したことなどの影響により、引き続き賃貸オフィスは順調に推移しました。
合計	2,889	100.0	△1.8	



(3)業績の説明

業績につきましては、売上高売上原価率が62.3%と2.0ポイント悪化いたしました。また、売上高販管費比率が26.6%と0.6ポイント悪化した結果、売上高営業利益率は2.6ポイント悪化し11.1%となりました。

(4)設備について

工場の生産設備等に49百万円の投資を行いました。なお、当第2四半期累計期間における減価償却費は2億1百万円であります。

(5)配当金について

配当金につきましては、中間配当金として12円、年間配当金28円を予定しております。

(6)財政状況について

総資産162億10百万円、純資産142億51百万円、自己資本比率87.9%、1株当たり純資産1,754円28銭であります。

2. 通期の見通し

(1)経営成績予想

売上高	61億50百万円	対前期増減率	増減なし
営業利益	7億円	〃	10.2%減
経常利益	7億50百万円	〃	6.6%減
当期純利益	5億50百万円	〃	11.7%減

(2)セグメント別売上高

(単位：百万円未満切捨)

	通期予想		
	金額	構成 (%)	増減 (%)
建築材料事業	5,890	95.8	0.1
不動産事業	260	4.2	△1.5
合計	6,150	100.0	—

(3)設備投資について

当下半期の設備投資は、主に工場の生産設備等に1億3百万円の投資を予定しております。なお、通期の減価償却費として4億10百万円を予定しております。